



# 釧路西ロータリークラブ会報

会長方針「誰もが個性を楽しめる社会を」

本年度 第7回(通算第2420回)

プログラム「クラブフォーラム(家庭集会報告)」夜間例会  
担当 理事会

■2024年10月7日(月) 18時30分～ ■ANAクラウンプラザホテル釧路

【会長】小栗 直也 【副会長】岡安 正人 【幹事】杉野 史和 【副幹事】平 信二・佐々木 進

★ 点鐘 小栗 直也 会長

★ ロータリーソング  
「君が代」「奉仕の理想」



ソングリーダー 武知 亮良 君

★ 会長挨拶 小栗 直也 会長



皆さん今晚は。今日は非常に寂しい例会となりました。先日は「食欲の秋 家族例会」という事で参加して頂いた会員、家族の皆様、そして色々と準備して頂いた親睦委員会の皆様、大変ありがとうございました。

そして今週末には地区大会が帯広にて開催されますが、出席で出していない方でも、もし時間があれば現地で集合して、西クラブが呼ばれた時に皆で返事をしてやれば格好がいいかなと思っています。

あと、つい先日、家庭集会が行われまして、新たな奉仕活動というお題で話し合ってもらいましたが、西クラブの「はまなすの植栽」「献血活動」が無くなったという事で、何か新たな奉仕活動が出来ればなという事で1班、2班に分かれてやって頂きましたけれど、今日はその報告を、どんな話が出るのか楽しみにしております。宜しくお願い致します。

## ★幹事報告

- ・10月のロータリーレートは1ドル142円です。
- ・ガバナー事務所より、『2024-2025年度 国際大会(カルガリー)北海道ナイト』開催の第1報が届いております。
- ・釧路、釧路北、釧路東、釧路南、釧路ベイ浜中、根室 各ロータリークラブより『10月例会プログラム』が届いております。
- ・米山記念奨学会より『ハイライトよねやま vol294号』、『豆辞典』が会員数分、届いております。

- ・ 釧路市共同募金委員会より『平成 6 年度赤い羽根共同募金』『市民歳末たすけあい募金』運動への協力のお願いが届いております。
- ・ 釧路市民憲章推進協議会より『市民憲章制定 60 周年記念式典周知ポスター』が届いております。
- ・ 釧路市民活動センター“わっと”より『だより 124 号』が、釧路交響楽団協力会より『定期演奏会のご案内と招待券』が届いております。



杉野 史和 幹事

### ★委員会報告

地区社会奉仕委員 平 信二君



パーソナル BOX の方に、以前ちょっとお話した公共交通機関を使って社会奉仕委員会の活動をしておりますということで、このようなバスパックのチラシが届いております。一番上に書いてあるんですが、路線バスに乗って地域の公共交通を守ろうという事で、今回地区の社会奉仕委員会の委

員長の方が十勝バスの野村社長という事でございまして、この方が 3 か年計画で地方路線バスを活用した社会実験というものと社会奉仕活動というのを行っております。減便廃止になり地方都市の衰退に繋がるため積極的に路線バスを活用するためにというような形でチラシとホームページ上にのせるバナーを作って周知活動をしております。皆さんでバスに乗る機会があれば乗ってアンケートに答えて頂ければという所でございます。宜しくお願い致します。

〈親睦活動委員会より〉 平 信二君

親睦活動委員会よりお知らせでございます。前回、家族例会があった時に、那知さんからニコニコ 3,000 円をお預かりしました。釧路カントリーコンペで優勝したそうです。

### 【本日のプログラム】

「クラブフォーラム(家庭集会報告)」夜間例会  
担当 理事会

〈第 1 班〉 発表者 平 信二君



第 1 班は 10 月 3 日(木)にはたご家で 4 名での開催となりました。金田さん、大場さん、杉野幹事、私です。

何を話合ったかと最初の方はお酒が入るまで、例の釧路市長選挙の話があり、色々と皆で話あった所、釧路市の街づくりの提案をしてみたいというのが 1 つの案で出ました。どうしても先ほどの路線バスもそうですが、どうしても都市機構が発展しないと釧路市が発展しない、奉仕活動というより街づくりの提案、それにより釧路市が発展していき、地域が発展していきという所を話しました。もう少し具体的にですが、釧路で何かをやる、イ

ベントにしても、ロータリーだけではない、何か他の団体さんとの繋がりイベントをする場を提供して、地域に社会貢献していきたいというのが1つ。

もう1つは講演者を呼んで高校生、まあ中学生でもいいんですが、講演をして頂き、そこでフォーラムをするというのも出ました。小谷ガバナーが色々学校をまわって性教育の話をしてまわられているとの事で、そういう活動を西ロータリークラブで主催し学生を集めてやるというのも、青少年奉仕の1つではないかと案が出ました。

大きくはその二つなんですが、先ほどの補足説明なんですが、金田パスト会長がですね釧路市って目玉がない、「氷都くしろ」と言っておきながら何もないと、スピードスケート場だって屋外だし、アイスアリーナも二つしかない、そんな状況でありますので釧路駅を改修するのであれば、その中にアイスホッケー場を作ってみたらどうかと、そういう案が出まして、そこにアメリカホッケーリーグを呼んで試合をしてもらえば全国から人が来るという事が出来るのではないかと仰っていました。僕個人的にはスピードスケート少年団に入っておりましたのでスピードスケート場も屋内に出来ればなという思いではありましたが、市に対する政策提言というか、お互いに相互交換して何か実現できればいいなという所はありました。

<第2班>発表者 佐々木 進君



第2班の家庭集会は10月4日(金)鳥取大通りの定食居酒屋むさしで行いました。出席者は谷口会員、三木会員、菊地会員、小栗会員、私の5名でした。和気あいあいとした雰囲気の中、テーマの新たな

奉仕活動について話合いました。

内容としては、

- ①地元の大学生、高校生を対象とした地元釧路での就職支援(地元企業タイアップ)
- ②釧路の西地区学校への継続支援
- ③アビリンピックへの継続支援

アビリンピックとは

大会の正式な名称は「障害者技能競技大会」ですが、親しみやすいものとするため、愛称として「アビリンピック」を使っています。

「アビリンピック」(ABILYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたものです。

目的

アビリンピックは、障害のある方々が、日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催しています。

この3つが第2班より出た内容になります。

<会長より>



皆さん真剣に話し合いをして頂いてありがとうございました。自分は2班に参加させて頂いたんですけど、やはりアビリンピックにはすごく興味があって、釧路の支援学校の子供たちが清掃の方でアビリンピックをやっていると、そして実はスポーツもやっているんですね。けれど道具が無いとか、そういう面でも困っているというのがあります。継続的な支援を、1回お金を出して終わ

りではなくて、毎年継続してやれるように、これを3か年計画としてやれるように、エレクト、ノミニーと3年かけて1つ大きな何か出来ればという思いがあります。  
以上です。ありがとうございました。

★ 点鐘                      小栗 直也 会長

**★次週例会の御案内**

10月21日(月) 12時30分～  
家族葬の我家(博善社)  
「 職場例会 」移動例会